

【和光市】地域ケア会議の発言要旨

発言者	発言要旨
<p>司会者 (保険者)</p>	<p>介護予防通所介護、介護予防訪問介護、市独自事業の管理栄養ステーションのチームケアで要支援1の新規の方の予防プランである。担当包括(センター長・)の方から説明してほしい。</p>
<p>担当包括(センター長・主任ケアマネジャー)</p>	<p>Kさん、66歳である。</p> <p>今年の1月に脳梗塞を患い、左半身麻痺、言語障害が残り、リハビリ病院に転院した。</p> <p>院内の歩行はできるようになってきたが、注意力低下があり、見守り必要である。</p> <p>明日、退院予定である。</p> <p>家族状況は、夫と2人暮らしであったが、夫が脳こうそくで現在老健に入所中である。Kさんは退院後、自宅で独居になる。</p> <p>生活機能評価について、左半身麻痺と注意力低下により、屋外歩行と調理に一部介助が必要としている。</p> <p>この2つを引上げることで、外出頻度、ゴミ出し、買物などもできてくるようになるの見立てている。</p> <p>調理について、栄養面の課題はあるが制限食の知識がないので、そこも向上させたい。</p> <p>支援計画は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞の再発予防で、栄養指導と配食サービス、定期的な血圧測定を行う ・屋外歩行の自立。通所や訪問での機能訓練をし、改善され次第ゴミ出しを自ら行うことができるようにする ・注意力低下があるので、自宅でヘルパー等と練習し自立に持っていく <p>今後について、本人が仕事をしていたこともあり仕事を探していきたいという強い希望があるので、機能回復を果たし、就労に繋げていきたい。</p>

発言者	発言要旨
司会者 (保険者)	屋外歩行が一部介助というのは、どういう個人因子か。
担当包括(センター長・主任ケアマネジャー)	左半身麻痺によるものである。
司会者 (保険者)	その麻痺の程度は重たくないということか。
担当包括(センター長・主任ケアマネジャー)	そうである。
司会者 (保険者)	左半身麻痺に伴い外出・歩行ができないことから一部介助レベルであり、自立させるということ、注意力低下により調理ができないことから、サービスを入れて自立させていこうということ、でプランが立っている。 ゴミ出しの自立については説明してほしい。
担当包括(センター長・主任ケアマネジャー)	2階に住んでおり、1階に自力で降りてゴミ出しするに当たり、医師からも難しいのではないかとされている。サービスを入れることで自立に持っていきたい。
司会者 (保険者)	Kさんのチームケアを行うサービス提供事業者より説明をしてください。
サービス事業者 (介護予防訪問介護)	自宅に戻ってからどの程度の動きができるのかを確認する。Kさんの就労意欲が強いことからそこへ対応できるよう自信がつけば、早めの屋外歩行が可能と見立てている。 調理については、左手の感覚がないことを確認し、調理能力がどの程度か、調理方法の改善も考えていきたい。
サービス事業者 (管理栄養ステーション)	Kさんに病識があまりないが、そこを意識させて脳梗塞の再発を防ぐことをしていく。 課題のうちの買物の自立にも関与し、食品の選び方をKさんに伝えていく。 調理についても共同調理を行うなどしていく。
サービス事業者 (介護予防通所介護)	階段での歩行や荷物を持つことについて支援していく。

発言者	発言要旨
司会者 (保険者)	<p>オーソドックスなケースである。軽い脳梗塞で入院し、早く自宅に戻ってくる。そこに予防給付を投入し、早めに復活してもらいたい。</p> <p>このプランについて、意見がある人はいますか。</p>
A包括職員 (介護福祉士)	<p>健康管理について、高血圧で受診歴あったが、定期健康診断を今まで中断していたので、定期受診を促していく必要があり、プランに位置付けるべきである。</p>
司会者 (保険者)	<p>定期受診の中断事由は何か。</p>
担当包括(センター長・主任ケアマネジャー)	<p>血圧が下がったので、病識がなくなったようである。</p>
司会者 (保険者)	<p>定期受診をしていかないと、今回のようなことになることをKさんにしっかり伝えないといけない。</p> <p>目標設定やサービスの入れ方について何か指摘がある人はいないか。</p>
B包括職員 (主任ケアマネジャー)	<p>脳梗塞で言語障害があることと軽い認知症の症状が出ていることが分かる。</p> <p>専門機関にかからないのであれば、例えば新聞の小見出しを声を出して読んでみるなどして支援を入れた方が、Kさんの就労支援にもつながるのではないか。</p>
担当包括(センター長・主任ケアマネジャー)	<p>言語障害については、少し早口になる程度でコミュニケーションに支障があるわけではない。</p> <p>サービスが入り、会話の機会も増えることから、取り立てて今回支援を入れなかったが、推移を見守りたい。</p>
司会者 (保険者)	<p>今回のプランに欠けているのは、就労支援という観点。そこが触れられていないと、Kさんの6ヶ月後のイメージが描けない。付け加えるようにしなければいけない。</p> <p>各専門職の意見を聞いていきたいと思う。</p>

発言者	発言要旨
管理栄養士 (助言者)	<p>Kさんは以前スーパーの総菜売り場で勤めていたことから、その味付けから自宅でも塩分が高めになっているのではないかと。</p> <p>そのことを踏まえ、配食サービスは減塩のためであることを認識してもらう必要がある。</p> <p>障害のある孫のために就労したいという目標だが、栄養指導はじめチームスタッフ全体でKさんの目標を本人に意識付けさせることが大事。</p> <p>目標達成に向けた手段の1つが減塩であり、脳梗塞の再発だけを訴えて栄養指導するのでは続かない。</p>
歯科衛生士 (助言者)	<p>言葉を意識して話すように伝えていく必要がある。</p>
薬剤師 (助言者)	<p>目標をしっかりと本人に認識してもらった上で服薬管理をしっかり行うよう伝えてほしい。</p> <p>脳梗塞の再発予防という観点から、医療機関と連携して服薬管理について、プランに盛り込み確認してほしい。</p>
作業療法士 (助言者)	<p>言語障害について、一度自分の話した言葉をICレコーダーに録音してみても聞いてみるとか、本人と一緒に指折りをしながら体を使って会話してみるとかしてみてもどうか。</p> <p>復職を目指しているのなら、介護予防通所介護の中で、テーブル拭き等一緒に活動し、本人の状況を見ていってはどうか。</p>
司会者 (保険者)	<p>2025年に向けて、前期高齢者の就労支援は重要。</p> <p>グループホームでの調理スタッフや市庁舎清掃などの働き口を用意し、地域デビューを果たしてもらえるよう支援していく。</p> <p>チームで目標を共有し支援していくように。</p>